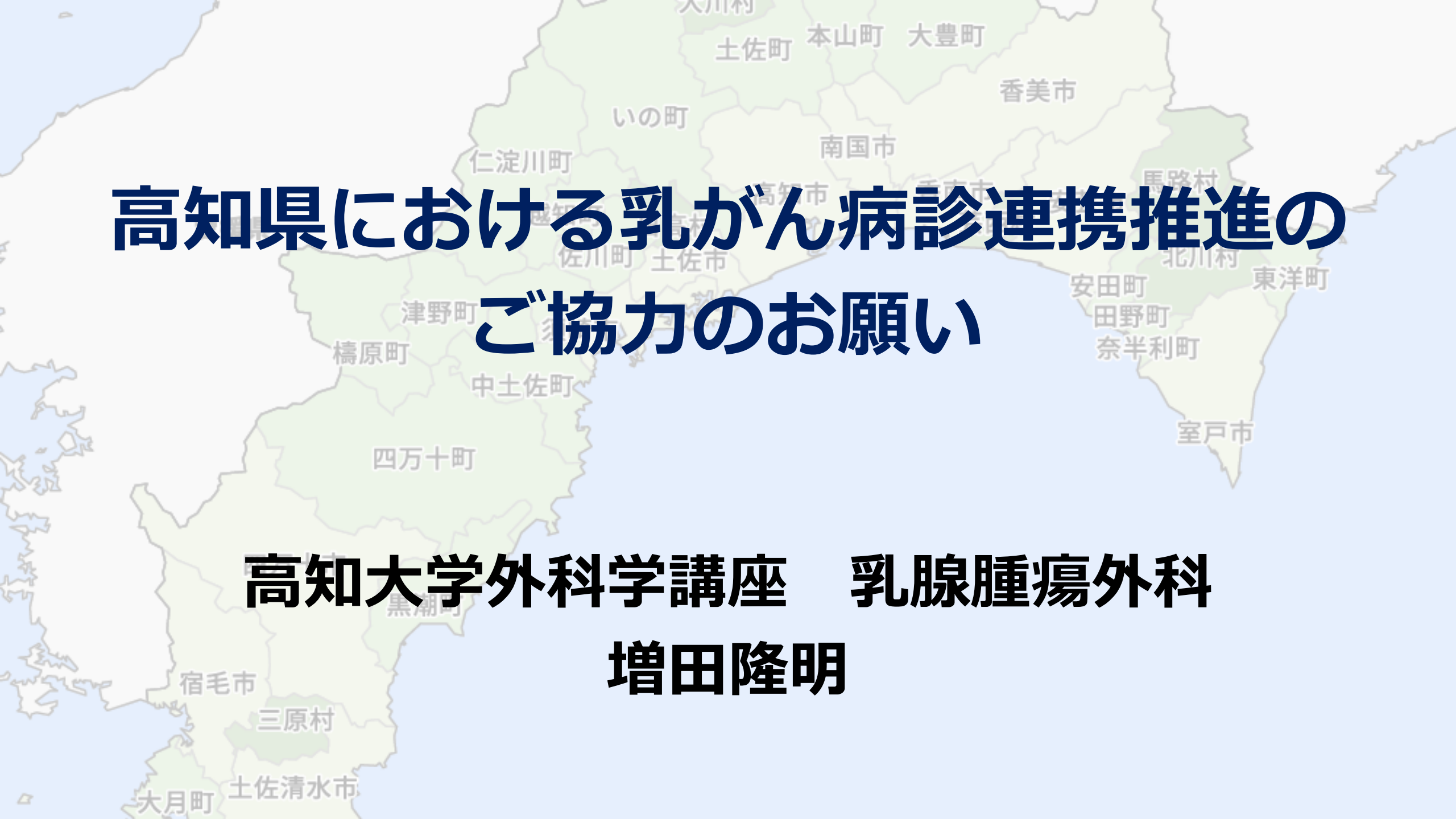


高知県医師会では、令和7年8月20日（水）の第5回全理事会にて、高知大学外科学講座乳腺腫瘍外科の増田隆明教授から本内容の説明を受け、協力していくことが承認されました。

現在、多くの会員の皆様にご協力いただきたく、本資料に基づき、各郡市医師会長が地域の理事会において説明していただいているところです。

改めて、高知県医師会より皆様方に協力要請のご案内をいたしますので、ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

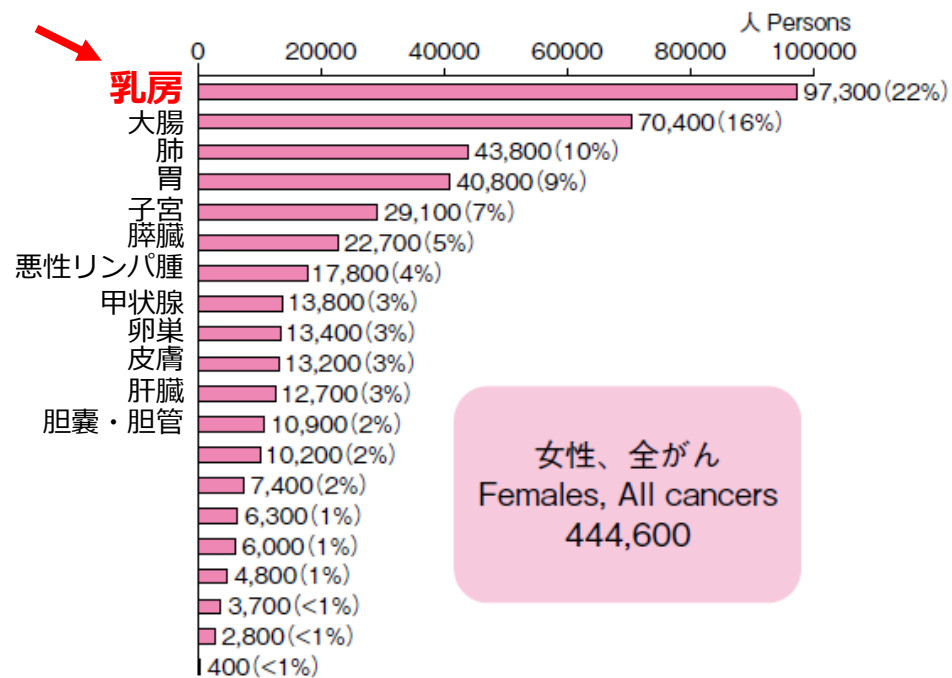
A map of Kochi Prefecture, Japan, showing its various municipalities. The map is light green with black outlines for the municipalities. The sea is light blue. The text is overlaid on the map.

高知県における乳がん病診連携推進の ご協力のお願い

高知大学外科学講座 乳腺腫瘍外科
増田隆明

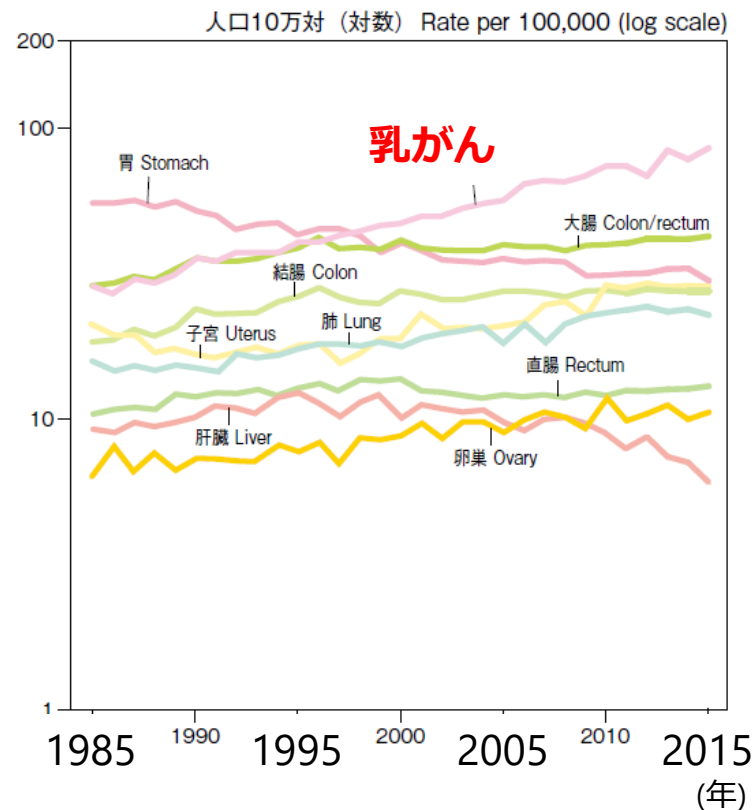
日本人乳がん

がん発症数 (2023年)



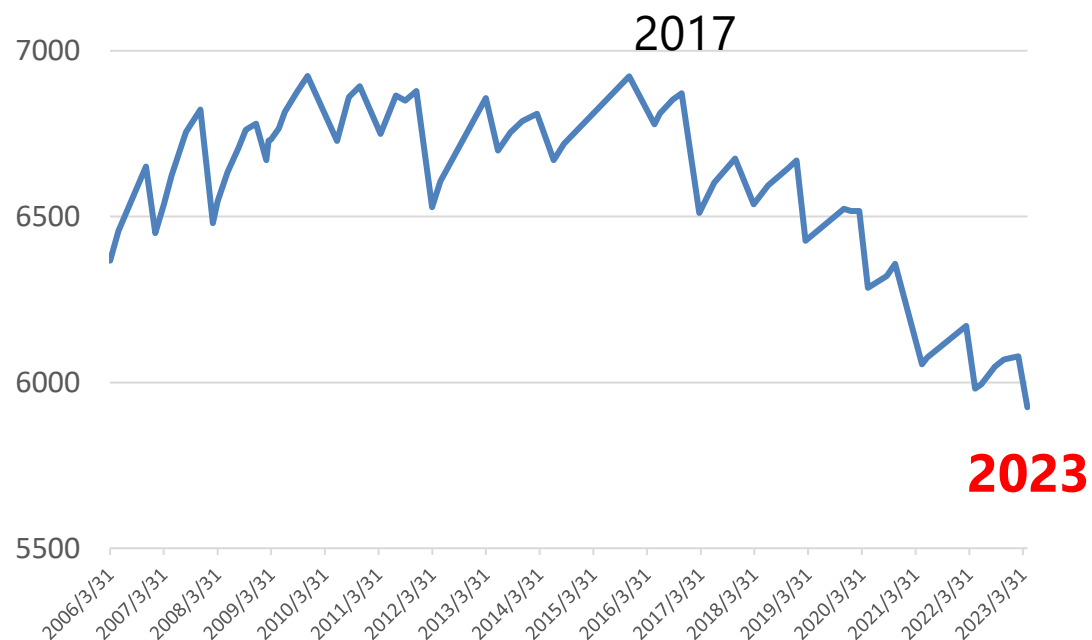
女性で最も多い (9人に1人)

罹患率の推移



現在も増加中

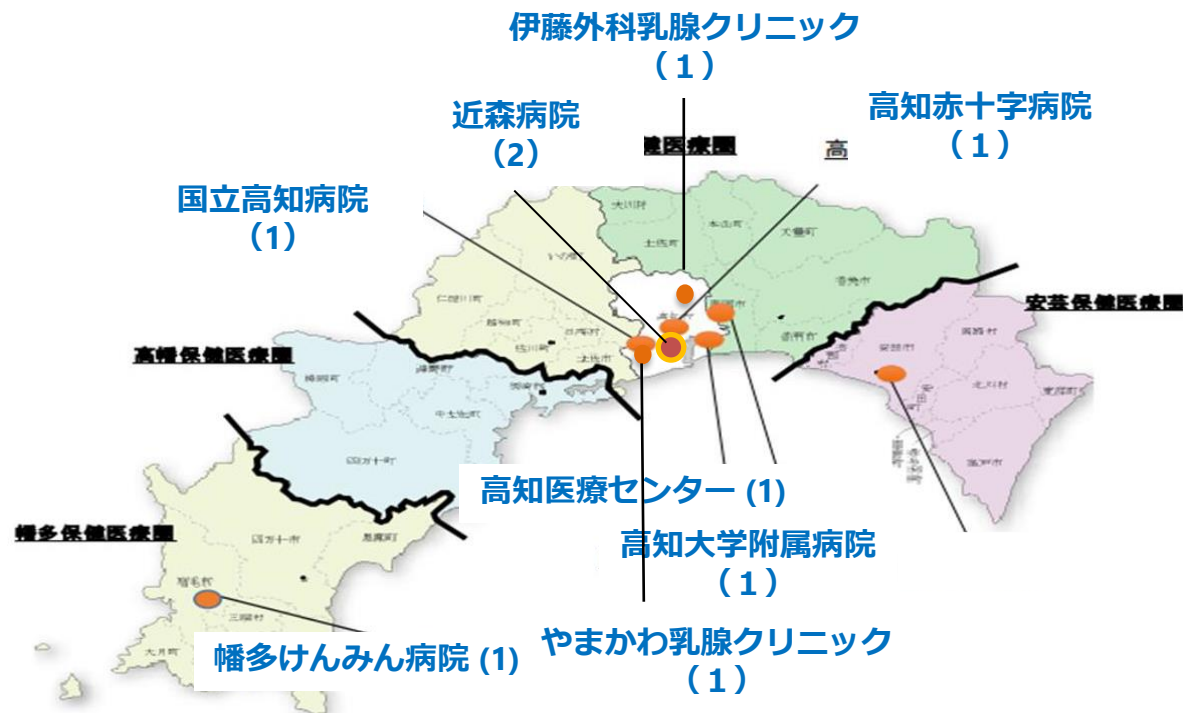
全国の乳腺専門医数



日本乳がん学会会報より

減少中

高知県の乳腺専門医 9名



高知市に集中

2時間かけて通院される患者さんも

高知県における乳がん診療の現状

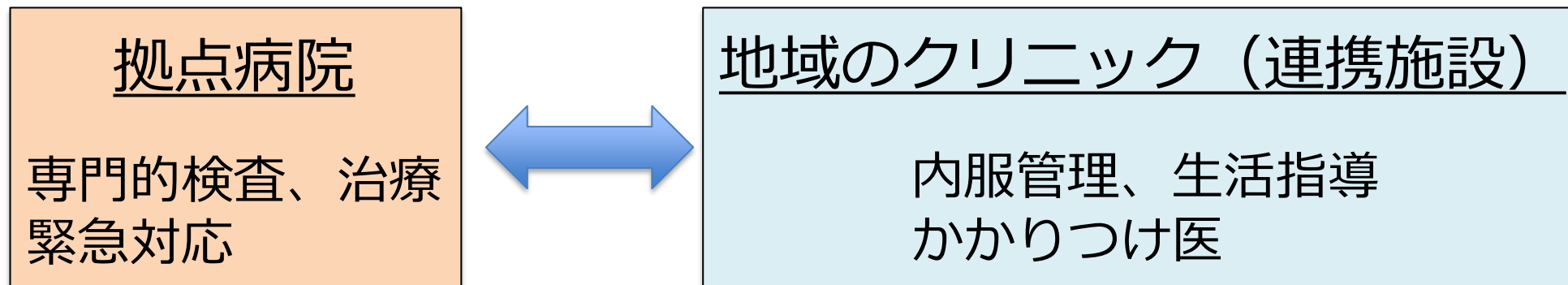
乳がん患者数の増加
術後 10 年フォローアップ
乳腺専門医が少ない
高知市に集中している
乳がん診療の高度化、緻密化
(乳がんサバイバーの増加)



**長い通院時間、待機時間
専門医療機関に集中**

地域医療機関との連携の必要性

病診連携



患者さん：

複数の医療機関によるサポート
通院負担の軽減

医療サイド：

医療の効率化、収益化

病診連携体制の構築を！

連携施設

対象：乳がん内分泌治療中の乳がん患者

拠点病院での診察（１年に１回）の間の診療

- 1．定期処方（内分泌治療薬など）
- 2．血液検査（血算、生化学、腫瘍マーカー（CEA, CA15-3））
 - ・ 詳細は拠点病院担当医より診療情報提供あり。
 - ・ 原則として、お元気で有害事象のほとんどない薬物治療中の方が対象。
 - ・ 緊急時は、拠点病院で対応。

連携施設をリスト化し拠点病院で共有することで病診連携を効率化

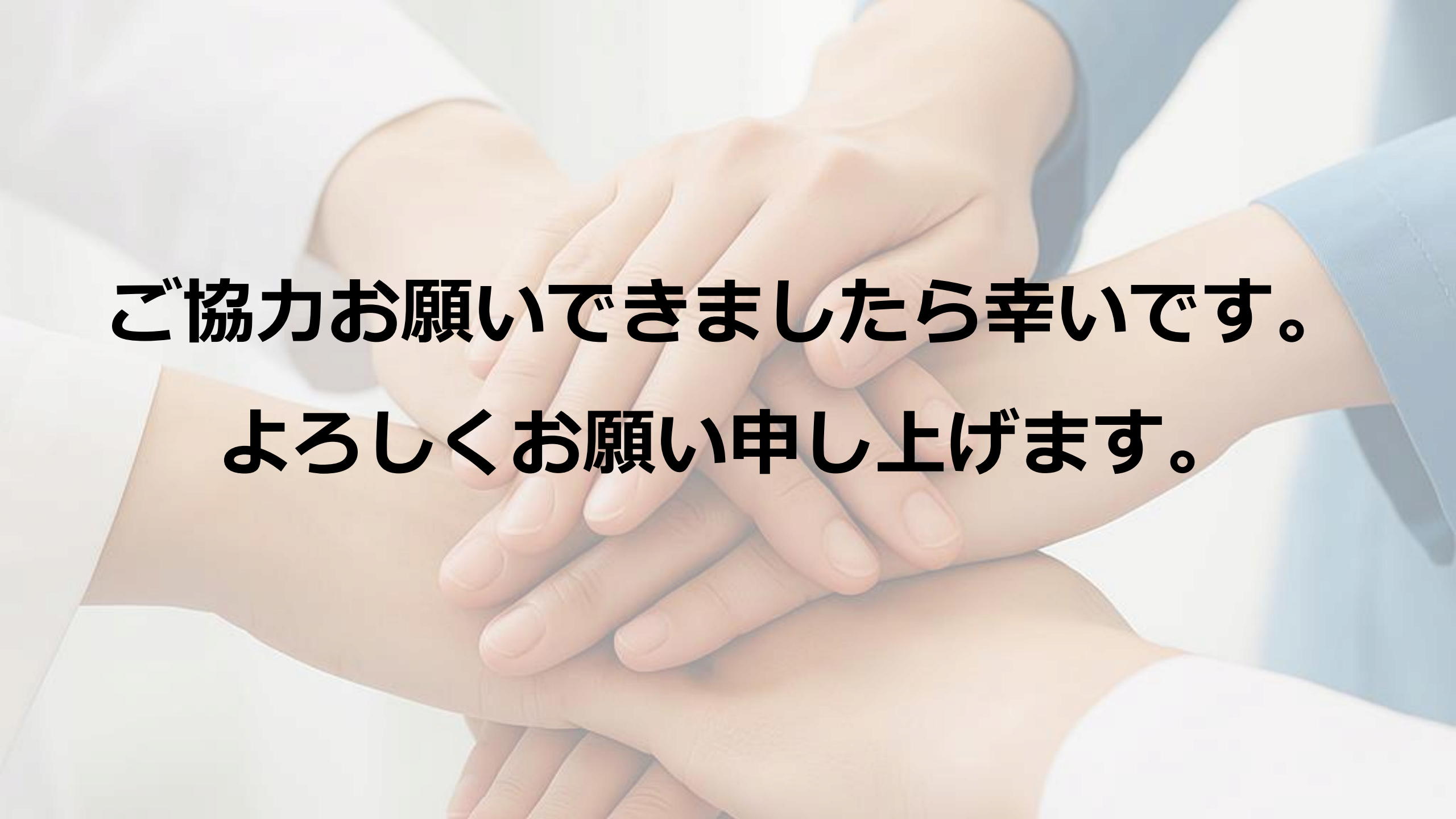
病診連携体制の構築のために

1. 理事の先生方に、各医師会に乳がん病診連携についてご説明いただく。
2. 連携依頼文書を、県医師会経由で医師会会員へ配布。
3. 連携医療機関のリストを、医師会で作成していただき、高知大学地域連携室に送信していただく。
4. リストを高知大学地域連携室より拠点病院に配布。
5. 拠点病院より連携医療機関に連携依頼。

各地域での乳がん説明会の開催も検討しております。

今後の展望

- 地域医師会との連携強化
- 病診連携体制の構築・運用（地域連携バス運用の推進）
- 情報共有の強化：電子カルテの導入や、情報共有システムの活用による、医療機関間の情報共有の円滑化
- 地域医療連携ネットワークの構築：医療機関だけでなく、介護施設や訪問看護ステーションなども含めた地域全体での連携

A close-up photograph of four hands stacked on top of each other, palms facing down. The hands are of different skin tones, suggesting a diverse group of people. The hands are positioned in a way that they overlap, with the fingers of the top hand resting on the fingers of the hand below it. The background is a soft, out-of-focus light blue and white, possibly a wall or a curtain. The overall mood is one of unity, teamwork, and mutual support.

**ご協力お願いできましたら幸いです。
よろしくお願い申し上げます。**